

令和4年度「しんくみの日週間」の活動について

協栄信用組合は、地域社会の一員として地域の方々との「絆」を大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

令和4年度は、9月1日から9月7日までの「しんくみの日週間」に合わせて、協栄信用組合の全店で地域貢献・社会貢献活動を実施いたしました。

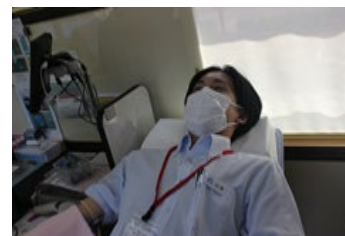
* 信用組合業界では、平成14年度より、9月3日（クミ）を「しんくみの日」、9月1日から9月7日までの一週間を「しんくみの日週間」と定めており、「相互扶助」を理念とする信用組合の意義や社会的役割を皆様にご理解いただくために、全国の信用組合をあげて、地域に根ざした社会貢献活動や日頃の感謝を含めた様々な活動を実施しています。

♥ 献血活動

協栄信用組合では、毎年4月と9月に献血運動をしています。

本店の駐車場に献血バスを配置して、職員のほか、お客様からも献血に協力していただいています。

4月は、職員14名、お客様7名が献血に協力いたしました。9月は、職員16名、お客様4名が献血に協力いたしました。



♥ 全店一斉清掃活動

「しんくみの日」である9月21日に、理事長はじめ全職員153名が各店舗周辺の清掃活動を実施しました。



♥ 感謝デーの実施

「しんくみの日」に感謝デーを開催して、来店されたお客様を対象に日頃の感謝を含めて「讃岐うどん3束」500個を用意して進呈いたしました。

♥ 使用済み切手の寄付

全店舗で一年間収集した使用済み切手約18,000枚を社会福祉協議会へ寄付しました。集められた使用済み切手は関係機関を通じて換金され、海外の医療協力を役立てられます。

♥ ペットボトルキャップの寄付

全店舗で一年間収集したペットボトルキャップ約16,000個を燕市役所へ寄付しました。集められたキャップはリサイクル業者に売却され、その収益で世界の子供たちにポリオワクチンを寄贈し役立てられます。